

記録管理学会 2013 年研究大会 ご案内

大会テーマ 記録管理の制度、運用、そして哲学

2013 年 4 月 1 日

各 位

記録管理学会

会 長 山崎 久道
大会担当理事 小川千代子

2011 年、3.11 東日本大震災を受け、同年 5 月の政府「復興 7 原則」の原則 1 で記録を残し発信することの意義が強調され、記録管理は復興の基本となりました。公文書管理法施行の直後のことでした。

記録管理の意義が社会的に大きく向上した 2012 年、記録管理学会研究大会は、記録管理についての認識の向上、とりわけその理念への理解を社会で増進することが、震災復興にむけた記録管理学会の新たなミッションとなることを認識し、会員はそのために研究調査を行い、一般社会に対しては、記録管理が立脚する記録管理の哲学と実務の普及に一層努めてゆくことを宣言しました。

2013 年の記録管理学会研究大会は、記録管理の制度、哲学、実務を議論するため、下記のとおり開催します。

開催要領

期 日：2013 年 5 月 24 日(金)、25 日(土) 総会・表彰・講演・研究発表等、詳細日程はウラ

会 場：東京堂ホール

東京都千代田区神田神保町 1-17 東京堂書店 6 階

■東京メトロ半蔵門線「神保町駅」 ■都営新宿線「神保町駅」 ■都営三田線「神保町駅」

いずれも A7 出口より徒歩 2 分

参加費：会 員 3,000 円(事前振込)／4,000 円(当日払) 学生会員 無料(要・参加申込)

非会員 4,000 円(事前振込)／5,000 円(当日払、当日入会申込で参加費は会員扱、学生は学生会員扱)

懇親会費：6,000 円 学士会館 徒歩 10 分 〒101-8459 千代田区神田錦町 3 丁目 28 03-3292-5936

宿 泊：各自

見 学：しょうけい館 戦傷病者史料館 〒102-0074 東京都千代田区九段南 1-5-13 ツカキスクエア 九段下
■東京メトロ東西線・半蔵門線「九段下」 ■都営新宿線「九段下」 いずれも 6 番出口から徒歩 1 分

Fax: 03-3403-1602 Email: f-ken@noma.or.jp

記録管理学会 2013 年研究大会参加申込書		2013 年	月	日記入
参加者名	会員番号	所属		
連絡先住所(〒 -)				
Email		TEL fax		
参加費 <input type="checkbox"/> 事前振込(会員、学生会員、非会員) <input type="checkbox"/> 当日払 (会員、学生会員、非会員)	払込日(2013 年 月 日)・ <input type="checkbox"/> 当日払			
		合計金額 円		
懇親会 6,000 円 <input type="checkbox"/> 参加 <input type="checkbox"/> 不参加	★払込者名(参加者と異なる場合は記入してください)			
大会前見学会(無料) <input type="checkbox"/> 参加 <input type="checkbox"/> 不参加				

☆大会参加申込は、2013 年 5 月 20 日までに送付してください。

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 3-11-8 一般社団法人 日本経営協会 検定事務局 手塚みゆき気付

Email: f-ken@noma.or.jp, Fax: 03-3403-1602 もご利用いただけます。

★参加費、懇親会費は有利な事前振込をご利用ください。振込先 三菱東京UFJ銀行三軒茶屋支店(店番号: 650)

普通口座 No.1131391 記録管理学会研究大会実行委員会(きろくかんりがつかいけんきゆうたいかいじつこういんかい)
領収書が必要な方は、メール又はファックスで上記にご連絡ください。当日会場でお渡しします。

■申込書に記入された個人情報、記録管理学会 2013 年研究大会事務のために限って用います。

大会テーマ —— 記録管理の制度、運用、そして哲学

◆第 1 日 5 月 24 日（金） 交流の日 見学・総会・記念行事

- 10:30 大会前見学会 しょうけい館 戦傷病者史料館（参加者は 10:20 しょうけい館前に集合）
- 13:00 受付開始
- 13:30 総会 一般報告、2012 年度活動報告、2013 年度活動計画
- 14:30 休憩
- 15:00 記録管理学会賞表彰式
- 15:30 特別講演 山崎久道氏（中央大学文学部教授、記録管理学会会長）
情報多消費社会への展望—記録管理に求められる役割と哲学—
- 17:00 終了
- 18:00 懇親会 会場：学士会館 徒歩10分 〒101-8459 千代田区神田錦町3丁目28 03-3292-5936
- 19:30 解散

◆第 2 日 5 月 25 日（土） 研究発表の日 会員による研究発表

- 9:30 受付開始
- 10:00 プロジェクト成果発表
- 11:20 会員研究発表
- 16:40 終了

時間	発表者(○代表者)	テーマ
10:00～10:30	○佐々木和子、水本有香、小川千代子	プロジェクト成果発表：東日本大震災によって被災した自治体、民間資料の被災状況及び復旧状況について
10:30～11:00	○石井幸雄、菅真城、浜田行弘、松岡美佳	プロジェクト成果発表：大学における文書管理に関する基礎的研究Ⅱ～問題点・課題の解決手法を中心に～
11:00～11:20		休憩 20 分
11:20～11:50	○逢坂裕紀子、岡本詩子、山崎沙織	東大アーカイブは成立可能か—学内史料の横断型アーカイブの構築に向けて—
11:50～12:20	嶋田典人	学校アーカイブズの保存と利用～「記録管理」から「アーカイブズ」へ
12:20～13:40		休憩 80 分
13:40～14:10	平井孝典	ロシア統治下・19 世紀初頭フィンランドにおける近代アーカイブズの始まりについて
14:10～14:40	元(ウオン) ナミ	韓国と日本における地方公文書館の現状と展望
14:40～15:10	本田正美	オープンガバメントと公共情報 —記録管理の重要性と記録整理の必要性—
15:10～15:20		休憩 10 分
15:20～15:50	上田雄太	情報リテラシー教育におけるアーカイブ活用教育の必要性について
15:50～16:20	小形美樹	文書管理はいかにして学ばれるのか—大学生を対象としたファイリングアンケートから
16:20～16:40		講評と閉会行事

[特別講演講師] 山崎久道氏 中央大学文学部教授、記録管理学会会長



昨今では、世の中で情報が活発に受発信され、組織や個人のもとで情報があふれかえる、いわゆる高度情報化社会が到来したように見えます。しかし、この社会の性格はなかなか複雑です。単に、IT が進展しただけでも、情報量が膨大になっただけでも、ありません。他に、もっと重要で実践的な特徴があります。記録管理や記録管理の専門家がそこで重視され、活躍するためには、この社会の特徴を冷静に見つめる必要があります。本講演では、「情報多消費社会」を考察することによって、記録管理専門家にとってのビジネスチャンスを探ります。